

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		28年 7月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 宇治市宇治琵琶33番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 宇治市 市長 山本 正
環境マネジメントシステムの名称	宇治市環境マネジメントシステム	
適用範囲	宇治市庁舎（本館、西館、議会棟）	
導入年月日	14年 2月15日	
認証番号		
基本方針	「宇治市環境保全基本条例」「宇治市環境保全計画」をもとに、環境に配慮したまちづくりに努めます。市自らが事業者であり、消費者であるという立場から、「宇治市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に係る温室効果ガス排出の抑制に向けた省エネ・省資源に取り組みます。環境に関連する法規制を順守します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	庁内における、エネルギー使用量（電力・都市ガス・公用車燃料・用紙類・水道・廃棄物）の削減・・・平成23年度比5%減 グリーン購入の推進・・・グリーン商品購入率80% イベント等実施時の環境配慮・・・イベント環境配慮手順書に従って実施 公共工事にかかる環境負荷の低減・・・建設残土・コンクリート・アスファルトのリサイクル率100% など	
目標を達成するための取組の内容	エネルギー使用量の削減・・・ 電力→節電対策、設備更新 都市ガス→室内温度の適正化の徹底 公用車燃料→エコドライブの周知 用紙類→使用量減につなげる啓発 水→節水設備の設置 廃棄物→排出量削減のための啓発	
目標を達成するための取組の進捗状況	エネルギー使用量の削減・・・ 電力→節電責任者による節電の徹底、庁舎等に高効率空調高効率照明の設置 都市ガス→室内温度の適正化の徹底 公用車燃料→エコドライブの周知 用紙類→裏紙利用の促進、四半期ごとに紙類使用量を各所属へ通知 水→節水コマ・音姫（トイレ）などを設置。中水の使用 廃棄物→各所属にてごみの排出時に計量し、可視化	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	毎月、各取組の評価を各所属で行っており、取組内容が職員に定着している。半年に1回、各所属の評価を集約している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の順守状況について半年に1回確認を行っている。特に重大な違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	平成25年4月1日から認証取得を取りやめ自己適合宣言へと移行した。評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。28年度に関しては、引き続き同じシステムを運用することとした。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。